

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

メタルリサイクル企業として、環境に優しい事業を展開すると同時に、SDGsの経済に関する目標の一つである「人や国の不平等をなくそう」のテーマと「つくる責任つかう責任」のテーマを実践していきます。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	人材の能力に重きを置き、性別、年齢、障害、国籍、出自などの差別は一切ない多様性を意識した雇用をさらに促進していきます。	採用の人数 2023年6人 →2026年9人
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	メタルリサイクルが生み出す安全且つ社会課題の解決につながる商品づくりを心がけ、国内外の市場へのアプローチをさらに広げていきます。	現在の1か月あたりのラジエーターを加工した銅・アルミの製造量 2023年100t →2026年500~1000t
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	金属原料の流通と新たな加工方法を創造し、SDGsの目標を達成させ、国内の「エコ消費」を促進する企業努力を徹底します。	二酸化炭素の排出量の維持 2023年0%→2026年0%

<パートナーシップ>

現在のところ該当するパートナーシップは取り入れておりません。

- ・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
- ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
- ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。